

持続可能なまちづくりを目指して連携・協力
～コースこうべとUR都市機構が連携協定を締結～

生活協同組合コースこうべ(コースこうべ)と独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)は、UR都市機構が「地域医療福祉拠点化」(詳細は裏面参照)に取り組む兵庫県神戸市北区のUR賃貸住宅団地及びその周辺地域において、多様な世代が生き生きと健康に暮らせる持続可能なまちづくりに資することを目的として、令和2年9月2日(水)に「生活協同組合コースこうべと独立行政法人都市再生機構との連携・協力に関する協定」を締結しました。

今後は、高齢者の暮らしを支える買い物支援や地域の居場所・つどい場づくりによる地域コミュニティ活性化などを通じ、UR都市機構が目指すミクスコミュニティの実現に向け、「地域医療福祉拠点化」(詳細は裏面参照)の取り組みをより一層進めてまいります。



(左) UR都市機構西日本支社副支社長 田中

(右) コースこうべ理事 上月

お問い合わせは下記へお願いします。

コースこうべ 広報室

(電話) 078-856-1078

UR都市機構 西日本支社

住宅経営部 ウェルフェア推進課

(電話) 06-6969-9088

総務部 総務課 広報担当

(電話) 06-6969-9008

■本協定に基づく連携・協力事項

- ・ 地域の高齢化に対応した生活支援に関する事項
- ・ 社会貢献活動における地域活性化に関する事項
- ・ 地域コミュニティの活動や形成支援に関する事項
- ・ その他必要と認められる事項

■今後の取組み予定

- ・ 移動販売車や店舗送迎車を利用した買い物支援
- ・ UR賃貸住宅団地でのつどい場立ち上げ支援
- ・ フードドライブや食品ロスについて学ぶ機会の提供



花山東団地（神戸市北区）で開催された食品ロス講座（令2.1）

■地域医療福祉拠点化とは？

URでは、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち“ミクストコミュニティ”の実現を目指し、UR賃貸住宅において「地域医療福祉拠点化」を推進中。地方公共団体や自治会等の地域関係者と連携し、以下の3つの内容を総合的に実施しています。

- ①地域における医療福祉施設等の充実の推進
- ②高齢者等多様な世代に対応した居住環境の整備推進
- ③若者世帯・子育て世帯等を含むコミュニティ形成の推進

団地を資源に、まちに必要なウェルフェアを

団地の地域医療福祉拠点化



詳しくは、 <https://www.ur-net.go.jp/welfare/kyoten/index.html> をご覧ください。